



Title	サーキットモデルによるNPO活動のマネジメントと評価
Author(s)	敷田, 麻実
Citation	日本NPO学会第5回年次大会. 平成15年3月14日 ~ 平成15年3月16日. 生駒市, 奈良市
Issue Date	2003-03-15
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/34797
Type	conference presentation
File Information	1253-3.pdf



[Instructions for use](#)

サーキットモデルによる NPO活動のマネジメントと評価



金沢工業大学 環境システム工学科
敷田 麻実

発表内容

- NPO活動のデザインプロセス
- サーキットモデル
- サーキットモデルによる評価



NPO活動の課題

組織や資源が十分ではない
市場で資金を調達できない
外部の影響を受けやすい
ノウハウが蓄積しない
場当たりの
参加者の努力がほしい



なぜか？

- 活動の多様性が高く、戦略を設計する一般モデルがない
- デザインプロセスのモデルがない
- さまざまな知識やアイデアを必要とする

よくあるNPO活動・・・

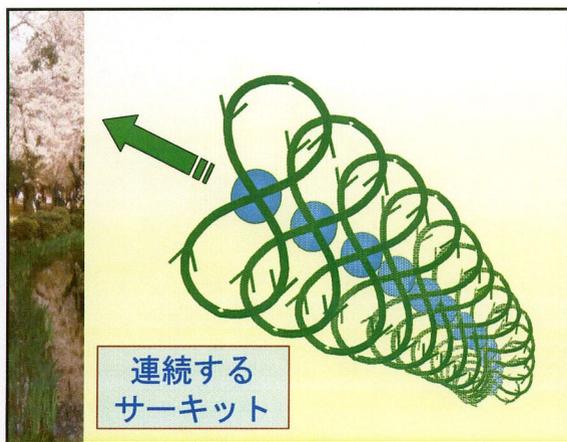
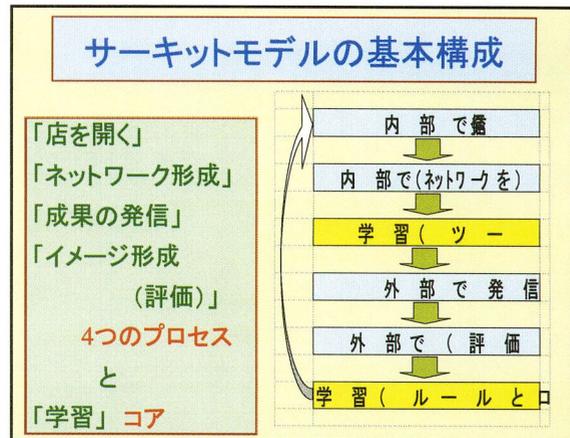
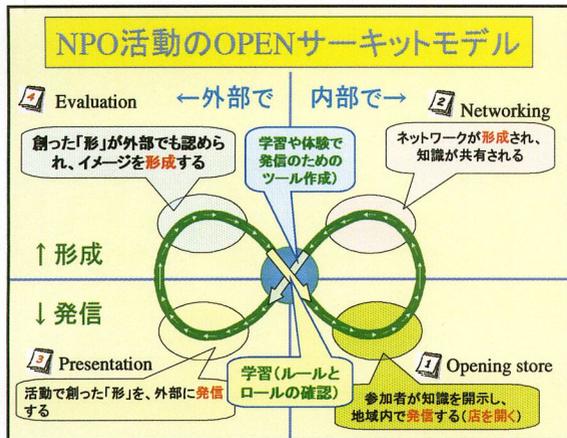
活動を広報する
ネットワーキングする(組織化)
地域で勉強会を開く
専門家による講演、指導
イベントを開く
報告書を作る
会報を作る

- 人が活動に関心を持ってくれる
評判になる



📦 活動をむすびつける

活動の容	場	活動
活動を広報	外部	発信
ネットワーキング	内部	形成
地域で勉強会を開く	内部	学ぶ
専門家による講演	内部	発信
イベントを開く	外部	発信
報告書を作る	外部	発信
会報を作る	外部	発信
活動に関心を持つ	外部	学ぶ
評判になる	外部	形成



- ### サーキットモデルの利点
- NPO活動全体のデザインが可能
 - 外部からの資金・知識・人を活用するNPO活動に最適
 - いわば「よそ者」との協働
 - NPO活動の知のストック(知識)の充実がめざせる
 - = ソーシャルキャピタルの充実

開放的な閉鎖性 (Oxymoron)

「店」は多いほどよい(多様性)
開店のリスクを下げる(自由)
よそ者の存在を生かす
ルールと役割 (ロール)

- ### 活動の評価
- 利益という基準が使えない
 - アウトプットで評価する問題
 - プロセスの充実度を評価したい
 - 複雑すぎる評価方法

